



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 山口 正信

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	19,230	3.8	△416	—	△492	—	△721	—
21年12月期第3四半期	18,518	—	△1,282	—	△1,391	—	△1,090	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△42.02	—
21年12月期第3四半期	△63.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	21,050	—	10,800	—	50.1	613.83	—
21年12月期	19,149	—	11,941	—	61.3	683.09	—

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 10,545百万円 21年12月期 11,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	0.6	3,100	5.1	3,050	6.5	1,340	1.4	78.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期3Q	17,185,650株	21年12月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	6,238株	21年12月期	5,996株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	22年12月期3Q	17,179,507株	21年12月期3Q	17,179,710株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新興国の需要回復等を背景に企業業績は緩やかな回復基調にあるものの、雇用情勢は依然として厳しく、個人消費の低迷、円高の進行やデフレなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループのこども写真事業は、本格的な七五三シーズンを前に、今年度も撮影用こども衣装（和装、洋装）の入替を行いました。また、ディズニーの新キャラクターである「スティッチ」絵柄の導入、並びに、デジタルアルバムの「マイフォトコレクションディズニー スティッチ」を導入いたしました。加えて、当上半期に販売を開始し、好評を得ている「増えデジタルアルバム」の品揃えの拡充を図るため、ディズニーデザインの「増えデジタルアルバムミッキー／ミニー」を導入いたしました。

そのほか、2月にディズニー撮影パワーアップ店舗としてリニューアルした八潮店に続き、7月にシェラトン店（千葉県浦安市）と仙台幸町店（宮城県仙台市）を同タイプの店舗にリニューアルいたしました。

当期間におけるフランチャイズ店舗を含む全店の撮影件数は、通年撮影項目のお宮参り、お誕生日撮影が引き続き順調に推移したこともあり、前年同期比で4.3%の増加となりました。

また、開店後1年以上経過した既存店の撮影件数は、1.0%の増加となりました。

国内の出店状況は、移転7店舗を含み28店舗を出店（内、小商圏型6店）し、次世代型への改装は52店舗実施いたしました。一方退店は、移転による7店舗を含み10店舗を実施いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館400店舗（直営店舗387店・フランチャイズ店舗13店）、ペット写真館1店舗、韓国の子会社におけるこども写真館4店舗、中国の子会社におけるこども写真館2店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館2店舗を含め、409店舗となっております。

婚礼衣装製造卸売事業におきましては、第4弾となるベッキーブランドのウェディングドレスの発表や、レンタル用婚礼衣装の新作の投入を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,230百万円（前年同期比3.8%の増加）、営業損失は416百万円（対前年同期866百万円の損失減少）、経常損失は492百万円（対前年同期899百万円の損失減少）、四半期純損失は721百万円（対前年同期368百万円の損失減少）となりました。

なお、当社グループの四半期業績の特徴といたしまして、収益の大半を占めるこども写真事業において、11月前後の七五三の時期に撮影が集中するため、下半期に売上高が偏重する傾向にあります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,901百万円増加し21,050百万円となりました。

流動資産は繰延税金資産等の増加等により、前連結会計年度末と比べ943百万円増加の8,913百万円となりました。

固定資産はリース資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ957百万円増加の12,137百万円となりました。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ3,041百万円増加し、10,249百万円となりました。

流動負債は短期借入金の増加、リース債務の増加、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比べ2,694百万円増加の9,168百万円となりました。

固定負債はリース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ347百万円増加の1,080百万円となりました。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,140百万円減少し10,800百万円となりました。

これは主に、第3四半期連結累計期間純利益（損失）及び前年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計期間末に比べ459百万円減少し、3,637百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、479百万円となりました。その主な内訳は、増加要因として減価償却費1,690百万円、減少要因として税金等調整前四半期純損失879百万円、法人税等の支払額1,534百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2,282百万円となりました。その主な内訳は、減少要因として写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出2,309百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、2,314百万円となりました。その主な内訳は、増加要因としてセール・アランド・リースバックによる収入997百万円、短期借入金の純増減額2,450百万円であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成22年2月8日に公表した業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,988,103	4,441,693
受取手形及び売掛金	1,398,846	1,056,168
商品及び製品	169,643	156,829
仕掛品	70,506	76,786
原材料及び貯蔵品	916,886	938,508
繰延税金資産	738,357	196,882
その他	1,695,765	1,152,910
貸倒引当金	△64,900	△50,000
流動資産合計	8,913,209	7,969,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,544,320	7,304,692
減価償却累計額	△3,610,756	△3,532,016
建物及び構築物(純額)	3,933,564	3,772,676
機械装置及び運搬具	776,862	765,905
減価償却累計額	△584,018	△516,794
機械装置及び運搬具(純額)	192,843	249,110
工具、器具及び備品	3,568,401	3,254,408
減価償却累計額	△2,719,824	△2,368,778
工具、器具及び備品(純額)	848,576	885,629
土地	650,076	650,076
リース資産	2,362,903	1,025,519
減価償却累計額	△897,501	△270,316
リース資産(純額)	1,465,401	755,202
建設仮勘定	4,251	—
有形固定資産合計	7,094,715	6,312,696
無形固定資産		
のれん	502,069	525,713
その他	456,272	478,449
無形固定資産合計	958,341	1,004,162
投資その他の資産		
投資有価証券	157,393	122,429
長期貸付金	219,888	219,888
繰延税金資産	886,938	792,529
敷金及び保証金	2,922,364	2,821,178
その他	9,517	6,366
貸倒引当金	△112,000	△100,000
投資その他の資産合計	4,084,102	3,862,391
固定資産合計	12,137,158	11,179,249
資産合計	21,050,367	19,149,029

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	350,882	473,057
短期借入金	4,513,600	2,063,600
未払法人税等	166,562	920,588
リース債務	1,225,796	719,531
賞与引当金	7,952	12,050
未払費用	1,318,401	1,080,001
その他	1,585,542	1,205,536
流動負債合計	9,168,738	6,474,366
固定負債		
退職給付引当金	341,377	301,703
リース債務	646,148	349,938
その他	93,126	81,575
固定負債合計	1,080,652	733,218
負債合計	10,249,390	7,207,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	6,703,893	7,855,316
自己株式	△9,206	△9,022
株主資本合計	10,636,086	11,787,692
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△146	△127
為替換算調整勘定	△90,745	△52,363
評価・換算差額等合計	△90,891	△52,491
少数株主持分	255,782	206,244
純資産合計	10,800,977	11,941,445
負債純資産合計	21,050,367	19,149,029

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	18,518,278	19,230,769
売上原価	14,604,259	14,683,315
売上総利益	3,914,019	4,547,454
販売費及び一般管理費	5,196,365	4,963,630
営業損失(△)	△1,282,345	△416,176
営業外収益		
受取利息	2,829	3,069
受取家賃	25,065	25,868
受取手数料	10,247	7,455
雑収入	19,801	17,555
営業外収益合計	57,943	53,948
営業外費用		
支払利息	43,214	43,858
貸貸費用	8,842	8,940
店舗解約損 為替差損	65,848	26,598
貸倒引当金繰入額	28,631	24,909
雑損失	15,000	12,000
雑損失	5,365	13,536
営業外費用合計	166,902	129,842
経常損失(△)	△1,391,305	△492,070
特別損失		
固定資産廃棄損	176,506	173,323
減損損失	31,188	214,378
関係会社整理損	14,540	—
特別損失合計	222,234	387,701
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,613,540	△879,772
法人税、住民税及び事業税	237,953	423,548
法人税等調整額	△771,433	△635,869
法人税等合計	△533,480	△212,320
少数株主利益	10,146	54,479
四半期純損失(△)	△1,090,205	△721,931

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	7,119,089	7,446,640
売上原価	5,340,220	5,278,839
売上総利益	1,778,869	2,167,800
販売費及び一般管理費	1,676,814	1,567,712
営業利益	102,054	600,088
営業外収益		
受取利息	823	999
受取家賃	8,254	8,294
受取手数料	707	641
雑収入	2,563	5,231
営業外収益合計	12,349	15,167
営業外費用		
支払利息	18,067	16,916
貸貸費用	2,829	2,968
店舗解約損	38,230	4,610
為替差損	34,182	14,513
貸倒引当金繰入額	—	12,000
雑損失	3,288	8,734
営業外費用合計	96,598	59,743
経常利益	17,805	555,511
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	6,459	—
特別利益合計	6,459	—
特別損失		
固定資産廃棄損	59,318	27,527
減損損失	3,754	19,124
特別損失合計	63,072	46,651
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,807	508,859
法人税、住民税及び事業税	156,812	204,965
法人税等調整額	△170,118	43,873
法人税等合計	△13,305	248,838
少数株主利益	18,689	33,126
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44,191	226,895

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,613,540	△879,772
減価償却費	1,256,671	1,690,181
のれん償却額	63,585	70,633
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	61,300	26,900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,025	△3,231
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	30,390	39,674
受取利息	△2,829	△3,069
支払利息	43,214	43,858
為替差損益 (△は益)	13,482	8,255
有形固定資産廃棄損	139,056	145,486
減損損失	31,188	214,378
関係会社整理損	14,540	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△286,423	△347,867
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△173,521	1,653
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,850	△117,981
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△209,967	△262,610
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	23,254	△22,209
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	741,401	596,248
その他	△103,907	△104,465
小計	25,071	1,096,061
利息の受取額	2,235	1,145
利息の支払額	△43,214	△41,484
法人税等の支払額	△1,225,414	△1,534,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,241,322	△479,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,178,391	△2,007,419
無形固定資産の取得による支出	△181,792	△119,596
子会社株式の取得による支出	△50,000	△35,000
差入保証金の差入による支出	△104,055	△182,164
差入保証金の回収による収入	85,736	68,308
その他	△23,613	△6,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,452,116	△2,282,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,968,598	2,450,000
セール・アンド・リースバックによる収入	1,125,513	997,958
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△204,182	△703,713
自己株式の取得による支出	—	△183
配当金の支払額	△429,492	△429,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,460,435	2,314,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,217	△12,987
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△255,220	△459,630
現金及び現金同等物の期首残高	2,924,413	4,096,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,669,192	3,637,290

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）

	こども写真事業 (千円)	婚礼衣装製造 卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,127,280	1,390,997	18,518,278	—	18,518,278
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,232,347	1,232,347	(1,232,347)	—
計	17,127,280	2,623,345	19,750,626	(1,232,347)	18,518,278
営業利益（又は営業損失）	(582,319)	(537,444)	(1,119,763)	(162,582)	(1,282,345)

当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

	こども写真事業 (千円)	婚礼衣装製造 卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,855,422	1,375,347	19,230,769	—	19,230,769
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,067,522	1,067,522	(1,067,522)	—
計	17,855,422	2,442,870	20,298,292	(1,067,522)	19,230,769
営業利益（又は営業損失）	(230,787)	(64,786)	(295,574)	(120,601)	(416,176)

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品又は役務の種類、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・役務の内容

こども写真事業 ……スタジオ写真の撮影・制作・加工、ディスプレイ制作、印刷等

婚礼衣装製造卸売事業 ……婚礼用ドレス・撮影用衣装等の制作・販売

3. 会計処理の方法の変更（棚卸資産の評価に関する会計基準）

前第3四半期連結累計期間

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1.（1）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失が、こども写真事業で429千円、婚礼衣装製造卸売事業で75,851千円それぞれ増加しております。

4. 会計処理の方法の変更（リース取引に関する会計基準）

前第3四半期連結累計期間

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1.（2）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））を適用しております。これによるセグメント情報に与える影響額は軽微であります。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。